

知っておくと得する
「保健・医療ガイド」

時期	月	週数	胎児の発育		ポイント
初期	第2月	4		身長約2cm、体重約4g からだの各器官の形成が始まる。	月1回、妊婦健診を受けましょう。
		5			
		6			
		7			
	第3月	8		身長約9cm、体重約30g 人間らしい顔つきになって、四肢の区別ができるようになる。	
		9			
		10			
		11			
	第4月	12		身長約15cm、体重約120g 髪の毛が生え始め、身長がグンと伸び始める。	妊娠届けを出し、「母子健康手帳」をもらいましょう。
		13			
		14			
		15			
中期	第5月	16		身長約25～26cm、体重約300g 胎盤が完成する。全身にうぶ毛が生え、からだに胎脂におおわれ始める。	「両親学級」などを受講しましょう。
		17			
		18			
		19			
	第6月	20		身長約30cm、体重約600g 皮膚にしわが出てきて、手指に爪が生え、まつ毛がはっきりしてくる。	
		21			
		22			
		23			
	第7月	24		身長約35cm、体重約1000g 耳が聞こえるようになり、足指にも爪が生える。まばたきができる。皮膚が赤く、しわが多い。	
		25			
		26			
		27			
末期	第8月	28		身長約40cm、体重約1600g 皮下脂肪が増え始め、おなかの中での位置が、ほぼ定まってくる。	2週間に1回以上、妊婦健診を受けましょう。
		29			
		30			
		31			
	第9月	32		身長約45cm、体重約2400g からだに丸みをおびてきて、各臓器の機能が、ほぼ成熟に近づく。	
		33			
		34			
		35			
	第10月	36		身長約50cm、体重約3000g 皮下脂肪が完全について、胎外生活の準備が完了する。	出産まで週に1回、妊婦健診を受けましょう。
		37			
		38			
		39			
40					
41					

妊婦健診

妊婦健診（定期健康診査）は、お母さんとおなかの赤ちゃんの健康を守り、妊娠が順調かどうかをチェックするためのものです。妊娠は病気ではありませんが、妊娠中は母体に変化が起こりやすく、自覚症状がなくてもトラブルが隠れていることもあります。妊婦健診で行う検査は、どれも母体と赤ちゃんの健康状態を確かめるために大事なもので、左の表を目安に定期的に受診しましょう。

妊婦健診は、妊娠初期から23週までは月に1回、

24週から35週までは2週間に1回、36週から出産までは週に1回、合計14回程度受けるのが望ましいのです。

また、妊娠12週に入ったら住所地の市区町村に「妊娠届」を出し、「母子健康手帳」の交付を受けましょう。この手帳には「かかりつけ」の保健担当者（医師・保健師・助産師）が妊娠中の母体と赤ちゃんの状態を記録しますので、病気や他の病院を受診する際や、外出する場合などは必ず携帯するようにしてください。

[公費負担分の健診項目と負担額]

	健診項目	公費負担額※
1回目 妊娠 8週前後	問診と診察・血圧・体重測定、 梅毒血清反応検査、血液検査など	16,090円
2回目 妊娠 20週前後	問診と診察・血圧・体重測定、 尿化学検査	2,980円
3回目 妊娠 24週前後	問診と診察・血圧・体重測定、 尿化学検査、血液検査	4,680円
4回目 妊娠 30週前後	問診と診察・血圧・体重測定、 尿化学検査、血液検査、 超音波検査 (出産予定日に35歳以上の妊婦のみ)	6,340円 11,640円 (35歳以上)
5回目 妊娠 36週前後	問診と診察・血圧・体重測定、 尿化学検査、血液検査	4,680円

※各回の問診・診察の公費負担は2,700円で、それを超えた場合と、
健診項目外の検査は妊婦の自己負担となります。

県内の市町村が医師会に委託している「妊婦健診」の公費負担が、
4月1日から従来の2回から、5回までに増えます。回数は市区町
村が選択できることになっていますが、検査項目の統一と公費負担
の拡充は、妊婦さんにとって朗報です。

**平成20年度から妊婦健診の
公費負担が5回に増えます。**



おぎや献金にご協力を！

「おぎや一献金」は、心と身体に障害をもつ子どもたちに援助の手を差しのべる思いやりの運動です。
皆様も全国の産婦人科医師が推進する愛の運動にご協力ください。



出産した



お母さんや

そのお産に立ち会った



医師、助産師、看護師



や **おぎや献金** に賛同する



色々な方



をうけます。集まった善意の



は



全国の心身障害児の施設



心身障害の研究

に使われます。

おぎや一献金箱は、産婦人科の病院・産院の窓口にあります。

●お問い合わせ
財団法人 日母おぎや一献金基金

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町1-4番地 市ヶ谷中央ビル内
TEL03-3269-4787 FAX03-3269-4730
<http://www.ogyaa.or.jp> e-mail: ikikin1964@ogyaa.or.jp